

過去と未来をつなぐ私たち

人は、自分一人の力で人生を全うすることはできません。私たちのいのちは、はるかな昔から、多くの先祖たちによって親から子へ、子から孫へと受け継がれてきたものです。また、周囲に目を向ければ、家族以外にも学校や職場、地域社会でふれあう人など、さまざまな人とのつながりの中で支え合って生きていることに気づきます。そうしたことを自覚すれば、「自分の人生なのだから、どのように生きてても自分の自由だ」と言いきることはできないでしょう。

草木は大地にしっかりと根を下ろしてこそ、強く大きく育っていけるものです。私たちの人生も、親祖先はもちろん、そのほかにも自分が受けてきた数々の恩に感謝して、その恩に報いる心を持ったとき、途中にはどのような困難があったとしても、ついには未来が開かれていくのではないのでしょうか。

〔モラロジー研究所出版部編『ニューモラル 心を育てる言葉366日』〕

◆ 道德教育シリーズ ◆

「対話する道德」をめざして

— 人生の意味の探求 —

北川治男 著 A5判・48頁 頒価：200円（税込）

「道德教育の本質」とは？ みずからを磨く生涯学習、そして次世代の人間形成に携わる累代教育の視点から、その意義を解説。

● 発行：公益財団法人 **モラロジー研究所**

〒277-8654 千葉県柏市光ヶ丘 2-1-1

TEL. 04-7173-3155（広報出版部） FAX. 04-7173-3324

オンラインショップ <http://ecmoralogy.jp/>

道德の本屋さん

で

検索

